

修了評価の方法

評価基準作成者： 崎山 賢士

評価方法及び合格基準

1 出題範囲

- ・介護における尊厳の保持・自立視線 ・介護の基本 ・介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ・介護におけるコミュニケーション技術 ・老化の理解
- ・認知症の理解 ・障害の理解 ・こころとからだのしくみと生活支援技術

2 出題形式

- ・3～5肢択一形式、穴埋め形式、記述形式とする。

3 出題数

- ・ 択一問題 26 問（配点 10 点）、
 全問正解：260 点満点
- ・ 穴埋め問題 10 問（配点 10 点）、
 全問正解：100 点満点
- ・ 記述式問題 2 問（配点 20 点）
 全問正解：40 点満点
 合計 400 点

4 合否判定基準

- ・ 280 点以上 7 割以上の正解率

5 不合格になったときの取扱い

- ・結果発表後、直ちに 1 時間の補習のうえ再評価を行う。
 なお、再評価に係る合格基準は 7 割以上とする。
- ・再評価の不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い修了延期等の処置を行う。
 ※基準に達するまで個別指導での補習を行い、再評価を行う。
- ・再評価以降の個別指導での補習の料金は 1 時間 1,000 円とする。
 ※現金で補習前に事務に納入することとする。